

2021年12月1日
株式会社サリバテック

山形県ふるさと納税返礼品 唾液1滴がんリスク検査受付開始

株式会社サリバテックでは、2021年12月1日より、山形県のふるさと納税返礼品として、唾液1滴がんリスク検査『サリバチェッカー』を下記のふるさと納税WEBサイトにて掲載を開始いたします。



<https://www.furusato-tax.jp/city/product/06000>



<https://www.rakuten.ne.jp/gold/f060003-yamagata/>



<https://furunavi.jp/Municipal/Product/Search?municipalid=10006>



<https://www.satofull.jp/pref-yamagata/>

【山形県への寄附額】

山形県への寄附額は40,000円となります。

【サリバチェッカー概要】

「サリバチェッカー」は、唾液でがん罹患リスクを評価します。唾液中の代謝物質の濃度を高精度に分析し、がん罹患時に異常値を示す物質の濃度をA I等で解析することで、現在のがん罹患リスクを評価します。唾液を採取し、サリバテックへ返送するだけで検査が可能のため、からだ・気持ちに負担をかけることなく、一度の検査で複数のがん（男性：膵がん、肺がん、胃がん、大腸がん、口腔がんの5種、女性：乳がんを加えた6種）の罹患リスクを調べることが可能です。また、検査後のフォローアップ体制として、検査結果について相談が可能な提携医療機関を全国にご用意できるように進めております。

(2021年11月末現在約360施設提携)



【世界が注目する最先端バイオテクノロジー拠点】

2001年に慶應義塾大学先端生命科学研究所の開設によって幕を開けた鶴岡サイエンスパーク。山形県と鶴岡市の行政の支援のもとに大学、企業、県民と共に世界が注目する大きな可能性をもった「イノベティブシティ」に成長しつつあります。日本のサイエンスには足りないと言われがちなワクワク感を求め、慶應義塾大学先端生命科学研究所：富田所長の「普通は0点」の理念に共感した多くの研究者が集結しました。世界最先端のバイオテクノロジーを駆使し、メタボロームなどの生物データを網羅的に解析して得られる大量のデータとITを用いて理解する「統合システムバイオロジー」という新しい生命科学のパイオニアとして世界中から注目を集めています。ここでの研究をもとに複数のバイオベンチャーが生まれ、新しい技術と製品を生み出しています。

サリバチェッカーもここでの研究から生まれた最新の検査です。



【サリバテック概要】

会社名	株式会社サリバテック
代表者名	代表取締役CEO 砂村眞琴
事業内容	・唾液によるがんリスク検査事業 ・新規リスク検査開発事業 ・研究検査受託事業

<報道関係者お問い合わせ先>

株式会社サリバテック 担当：前田

TEL：0235-64-8452 E-mail：info@salivatech.co.jp